

ひろば

第17号 2015年10月3日
発行者：小澤和夫
吹田市藤が丘町 27-1-405
TEL/FAX 06-6388-6257
e-mail : ozak200@nifty.com

吹田ホスピス市民塾

吹田市のがん行政が大きく進展、花開く？

会長 小澤 和夫

今年4月に選出された吹田市後藤圭二市長の「9つの重点項目（マニフェスト）」の中に、がん施策がありました。

「05：いのちを守ります。・・・専門職を配置した医療担当組織を設けます。（特に循環器とがん患者への対応も始めます・・・）」

そこで、9月4日（金）15:00~15:30、後藤市長と当市民塾の役員4名が、石田理事（福祉保健部健康医療担当）同席の上、市長応接室で面談させていただきました。

まず当方から活動の報告をし、

- ① 昨年5月からの「吹田がん情報コーナー」（市役所ロビー、月2回午後）の継続を要請、
- ② がん対策の推進には、行政が軸になって医療・市民などの協働が必要だと考えているが、後藤市長のマニフェスト（上記）についての構想を伺いました。

これに対して後藤市長から構想をお話いただき、当市民塾の協力を要請されました。この構想が実現すれば、吹田のがん対策が大きく進展します。今後の進展を期待して、私たちのパワーもシッカリ高めねばなりません。

がん対策は、'06年に国ががん対策基本法を制定、大阪府が'08年に大阪府がん対策推進計画を立案して以降、全国的に強く推進されてきています。

一方、吹田市ではがんによる死亡率（全死亡者に占めるがん患者の死亡率）が34%と、全国平均の29%を大きく上回っています。（10年前は、吹田市37%、全国平均30%）

こうした中で、私たちは10年前に市民塾をスタート、活動を展開してきました。

全国各地のがん対策の進展しているところの特徴の一つは、行政が軸になって、市民も参画してネットを構築して推進していることです。

私たちは、阪口市長時代に誕生し（第1期）、井上市長の時代に「吹田がん情報コーナー」が市民病院の後援のもとに生まれ（第2期）、後藤市長の時代に（第3期）大きく進展する事が期待されます。まさに、ホップ、ステップ、ジャンプで、これから大きな花が開くことを期待します。

同時に、行政任せではなく、市民も積極的に参画して、市民・患者の立場で建設的な提案をしていかねばならないと思っています。

<公開講座>「がん患者さんを自宅で看取る

には～在宅医の立場から」をお聴きして

さる7月25日、今年度第1回目となる「がん患者さんを自宅で看取るには～在宅医の立場から」の公開講座がありました。

講師は、在宅医療専門～在宅で治療・療養を行う患者さんやご家族の治療・サポートを行っておられる～津雲台の「おおさか往診クリニック」院長 田村 学先生です。田村先生は、日本で屈指の在宅支援診療所である仙台往診クリニックで研修後、2008年におおさか往診クリニックを開設され、“自宅の治癒力” 一家には、そして家族には病院での治療に勝るとも劣らない力がある―を理念に、日々在宅医療にご尽力させておられます。

講座では、私たちにも理解しやすい言葉と優しい語り口で、在宅医療の基本とは何かということ―患者やそのご家族と対等な関係作りの大切さ、そのためには同じ目線の高さでお話をする、あえて白衣は着ない、そして患者をちゃんと名前と呼び、丁寧語で話すこと等が大事だとお話しされました。それを患者の立場からお聴きすると、1人ひとりにきっちりと向き合い、患者の人生を大切にされている先生の立ち位置が伝わってきました。

また、事例として先生が実際に見ておられる患者さんの具体的な症例を診断や症状、治療や経過を踏まえてご紹介くださいました。先生はもともと耳鼻咽喉科、特に鼻・副鼻腔、頭蓋底における内視鏡手術がご専門でおられたとの事で、外に見える部位の患者さんも多い様で、なかなか症例写真などは拝見するのも辛いところでしたが、胸に詰まる思いで拝見させていただきました。

なかでも、私が一番人生の理不尽・やるせなさを感じたのは、若い男性が事故で脳死状態になって医療者も万策尽きたけれど母親だけは決してあきらめず、ずーと耳元で名前を呼び続け何か月も何か月もかかったが、意識が戻り、ついには仕事に復帰できるまでに回復したにも関わらず、その事故の時に受けた輸血が原因で罹患しついにはとうとう亡くなってしまわれた、という先生の看取りのお話です。

このように、田村先生は患者さんはもとより患者家族や親戚、または関わる関係者一人ひとりの“物語” 「病気になった理由」、「経緯」、「症状」、「病気についてどのように考えているか」などを大切に在宅医療に取り組んでおられる貴重な存在で、そういう医療者の方がこの吹田にいてくださる幸せを思いながら会場を後にしました。

(会員 西野 薫)

第32回みんなの健康展に出展

(益田)

みんなの健康展が9月5日午後1時から6日に亘って、メイシアターで開催されました。我々吹田ホスピス市民塾の出展も恒例となり、認知度も上がって違和感もなくなってきたように思います。

配布資料として、今後の活動をまとめたチラシ、ホスピス市民塾のリーフレット、国立がんセンター・がん対策情報センター発行の冊子を3種類、爽快ウエットティッシュ(吹田ホスピス市民塾の名前シール付き)などを準備しました。

二日間で約180名の市民の方々が立ち寄ってくださり、がんに関する話題を交わしました。

「7年前に乳がんの手術を受けました。その予後の事が気になります」「主人を肺がんで亡くしました。私もがんにならないようにしないで・・・」「回りにがんの人はいないけど、二人に一人はがんになる時代ですもの。注意しなくては」など、皆さん情報はしっかり得ておられます。

しかし、いざ自分ががんと言われたら狼狽されます。そんな時に吹田ホスピス市民塾を思い出していただけたら、何かの助けになるかもしれません。そんな思いを込めて、吹田ホスピス市民塾のチラシをお渡ししました。

そして何よりうれしかったのは、例年より多い13人も会員の協力が得られたことでした。



‘15 公開講座 (全3回) のお知らせ

～がん患者さんを自宅で看取るには～

第2回 「訪問看護師の立場から」

講師：訪問看護ステーションれんげそう
所長 松本和子氏

日時：10月31日(土) 14:00～16:00

会場：男女共同参画センターデュオ
2F 視聴覚室

参加費：300円(資料費として)

第3回「遺族の立場から」2016年1月予定

『15 ピアサポーター養成研修』

日程：2回目 11月22日（日）10:00～16:00

会場：男女共同参画センターデュオ

講師：伊藤 和直氏

（名古屋市がん相談情報サロンピアネット
チーフピアサポーター）

第1回ピアサポーター研修を受けた方優先ですが
空きがあれば参加して頂けます
お問い合わせください

「補助金交付事業パネル展」に出展

9月2日～11日まで千里ニュータウンプラザ
で行われました。



平成27年度市民公益活動促進補助金交付事業パネル展

吹田ホスピス市民塾も補助金(95,000)を受けて
活動に役立っています。第2回パネル展を市役所
正面玄関ロビーで開催予定

日時：平成27年12月9日～12月18日

会場：吹田市役所正面玄関ロビー



私の使命～がんと共に生きる

私は4年前2011年5月に乳がんの告知を受けました。一旦は良性と判断されましたが、すぐ他の専門医にもう一度検診を受けたところ悪性であることがわかり、すぐに治療を受けたため大事に至っておりません。本当に早期発見の重要性を認識しました。

しかし私の主人は2年半も前から専門医に診て頂いていたにも関わらず、がんが発見されませんでした。しかし気づいた時にはすでにまさかの肺がん末期の告知を受け9か月で亡くなりました。

私は又早期発見の重要性とその大学病院に不信を抱きました。私は、多くの方にがんの恐ろしさと定期検診、そしてサードオピニオンの重要性を知って頂く必要性を感じ、奈良でがん患者会「若草の会」を設立して活動をしていました。

また、その一環としてがんを患っている方、サバイバーの方の体験談をまとめた小冊子を2012年12月に発行して、読売新聞、毎日新聞、奈良新聞、他の新聞、メディアなどで取り上げていただきました。

まさか自分と主人ががんという病気に触れ、「がんという病気は自分や家族がならない病気ではない」ということを深く自覚しました。

がんは誰にも平等に突然襲い掛かる病気であり、それを見つけるのは日頃からの心構えです。いくら定期検診に通い、がんが発見されなくても、多角的な方面から検査を受けることが大切ですし、人間、歳を重ねれば重ねただけの発症のリスクが高まることを多くの方々に認識して欲しいと心から思っています。

これまで奈良で活動してきた事を、私の故郷でもある吹田にお住いの皆さまのお手伝い出来たらと思って、吹田市ホスピス市民塾に参加させて頂きました。市民塾の皆さまががんという病気にたいする意識の高さには大変に驚かされましたし、逆に私自身のがんと戦う皆さまの援助が私の使命であると深く認識いたしました。

そのためにもこれから乳がんコーディネーターとして、乳がん患者の方のため、その他のがん患者の方、家族の方の適切な援助が（情報を提供）できますように頑張りたいと思います。
（会員 水野真弓）

お知らせ

患者・家族会 <申し込み不要>

ひまわりの会(遺族会)

いずれも 13:30~15:30 デュオにて

10月24日(土)

11月28日(土)

12月19日(土)

会場は別にとっています

突然のがんの告知でどうしていいかわからない方、現在治療中だけど生活の不安をどこへ話したらいいかわからない、家族のがんで悩んでいる方、一人で悩まずお話ししてみませんか？

定例会

(どなたでもご自由にご参加下さい)

10月3日 11月7日 12月5日

いずれも 土曜日 13:30~16:30

デュオにて

吹田がん情報コーナー

<申し込み不要>

いずれも 13:00~16:00

吹田市役所ロビーにて

10月1日、15日(木)

11月5日(木)

12月17日(木)

がん患者さん、ご家族及び一般市民の皆さんにがんに関するいろいろな情報をお伝えしています

<11月19日 12月3日は会場の関係でお休みさせていただきます> 後援:吹田市民病院

会員の皆様へお誘いとお願ひ

会員の皆様のご参加お待ちしております。
ご意見もお聞かせ頂き ご協力ください。

★ 掲載可能な”みなさまの体験記”を募集しています。

★ 次回から会報誌の印刷、発送のお手伝いできる方ご連絡ください。

吹田在宅ケアネット

『在宅ケアに必要な地域連携とは』

～ 岸和田市での取り組み ～

講師 出水クリニック 出水 明院長

日時:平成 27 年 10 月 17 日(土) 14:00-16:00

場所:大和大学

会 費 500 円

参加申込の方は小澤まで

リーフレットのご入り用の方は
役員までお知らせください。

薬局などにも置かせて
いただいております。



お気軽にお問い合わせください

☆会員を随時募集しています

男女共同参画センター(デュオ)

吹田市出口町 2-1 TEL:6388-1451

JR吹田駅北口(又は阪急吹田駅)下車徒歩約10分
アサヒビール吹田工場前の片山神社 横

吹田ホスピス市民塾

HP <http://suita-hosupisu.jimdo.com>

ブログ http://blog.goo.ne.jp/mangopurin_2013